

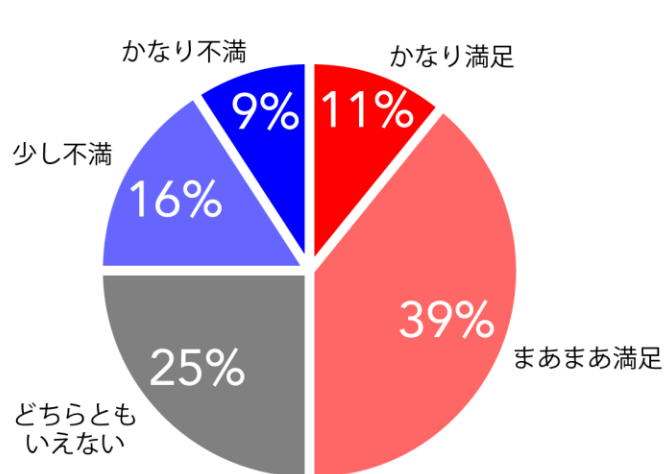
「2020年度 遠隔授業に関するアンケート」結果概要



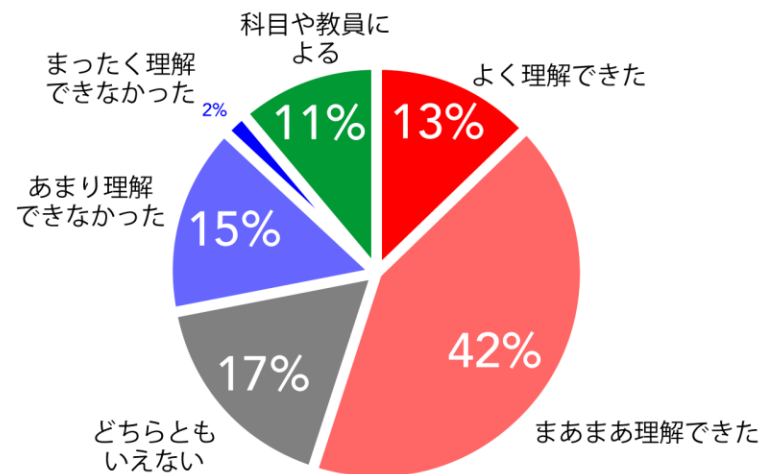
獨協大学 FD推進委員会

2020年度遠隔授業に関するアンケート結果概要

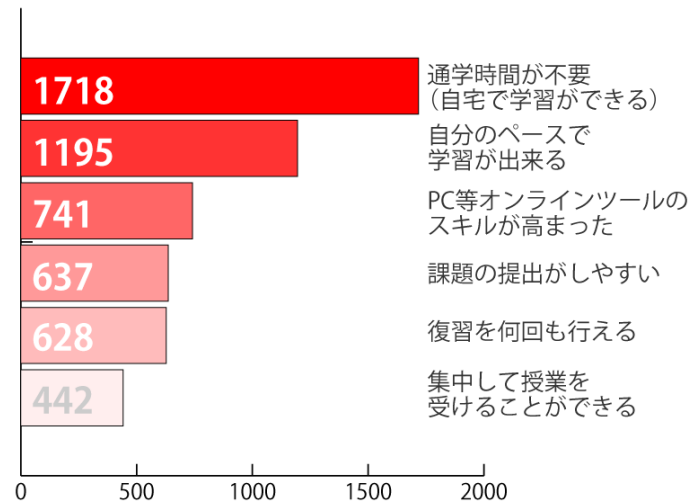
回答件数：学生 2741名 /8399名 (32.63%)



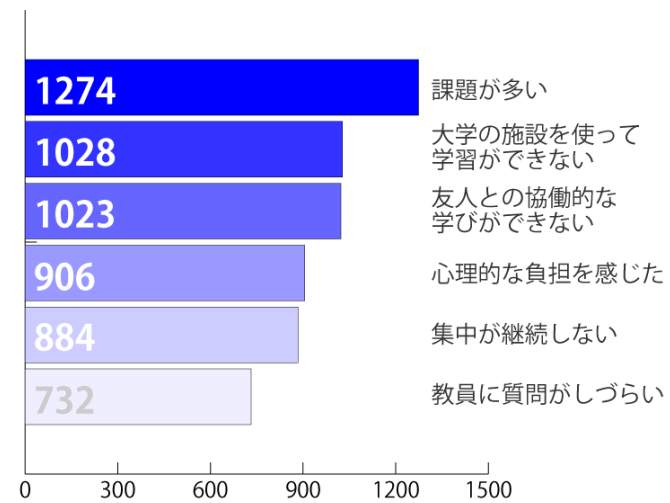
遠隔授業全体の満足度



遠隔授業全体の理解度



遠隔授業で良かったこと
(学生) 複数回答延べ人数



遠隔授業を実施して問題点として感じたこと
(学生) 複数回答延べ人数

「アンケート(学生用)」、「アンケート(教員用)」の集計結果、自由記述を次の6点に集約。

- 1 遠隔授業の授業形態
- 2 遠隔授業について
 - (1) 授業全般の満足度・理解度(学生)
 - (2) 授業形態別の満足度・理解度(学生)
 - (3) 肯定的な意見(学生)
 - (4) 肯定的な意見(教員)
 - (5) 否定的な意見(学生)
 - (6) 否定的な意見(教員)
- 3 課題、フィードバックについて
- 4 学習時間の変化について
- 5 身体的、心理的負担について
- 6 まとめ

- ・名称:「2020年度遠隔授業に関するアンケート(学生用)」
「2020年度遠隔授業に関するアンケート(教員用)」
- ・アンケートの目的:
2020年度に実施された遠隔授業について、教育の質保証の観点から、実施された授業形態の実態把握をするとともに、今後の課題等を認識し改善のための資料とすることを目的とする。
- ・アンケート期間:2021年2月12日～18日
- ・アンケート方法:Google Form
- ・対象学生:全学部学生、大学院学生
- ・回答件数(学生):8,399名中2,741名(回答率:32.63%)
- ・対象教員:全専任教員、全非常勤講師
- ・回答件数(教員):650名中278名(回答率:42.77%)

1 授業形態

科目ごとの授業形態

授業科目は4つに分類:「語学科目」「講義科目」「演習科目」「スポーツ・レクリエーション科目」
授業科目ごとの授業形態の上位

【語学科目】

双方向リアルタイム授業のみ → 37%
双方向リアルタイム授業 + 課題配信型授業 → 25%

【講義科目】

双方向リアルタイム授業のみ → 19%
双方向リアルタイム授業 + 課題配信方授業 → 11%
オンデマンド授業のみ → 11%
課題配信型授業のみ → 11%
双方向リアルタイム授業 + 課題配信型授業 → 10%

【演習科目】

双方向リアルタイム授業のみ → 50%
双方向リアルタイム授業 + 課題配信方授業 → 25%

【スポーツ・レクリエーション科目】

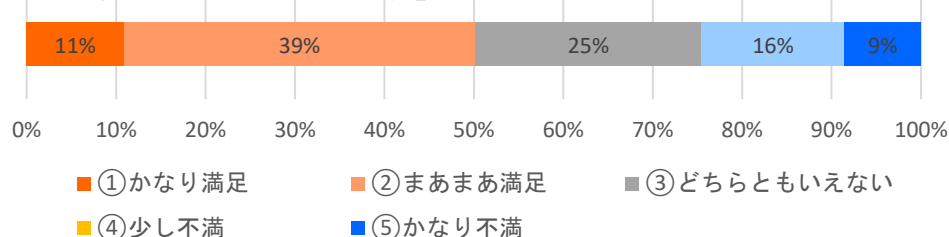
双方向リアルタイム授業のみ → 43%
双方向リアルタイム授業 + オンデマンド授業
+ 課題配信方授業 → 21%



「双方向リアルタイム授業」を中心とした授業形態の組み合わせが大半

(1) 授業全般の満足度・理解度(学生)

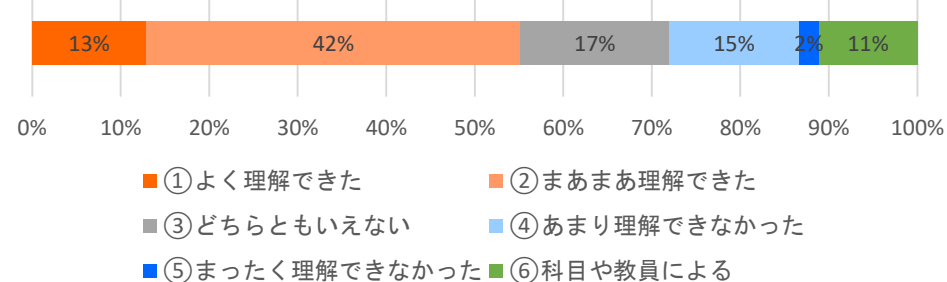
遠隔授業全体としての「満足度」



「かなり満足」「まあまあ満足」の合計 ⇨ 50%

「少し不満」「かなり不満」の合計 ⇨ 25%

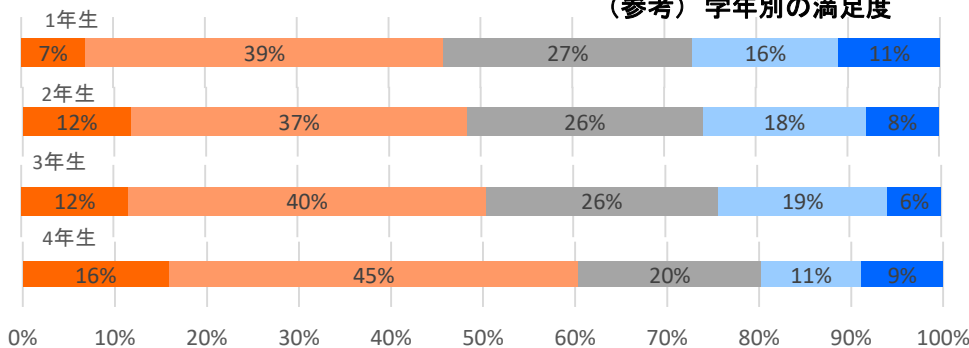
遠隔授業全体としての「理解度」



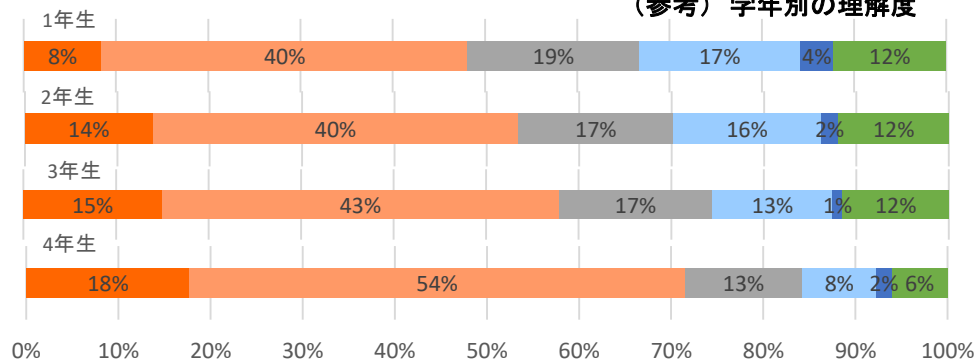
「よく理解できた」「まあまあ理解できた」の合計 ⇨ 55%

「あまり理解できなかった」「全く理解できなかった」の合計 ⇨ 17%

(参考) 学年別の満足度



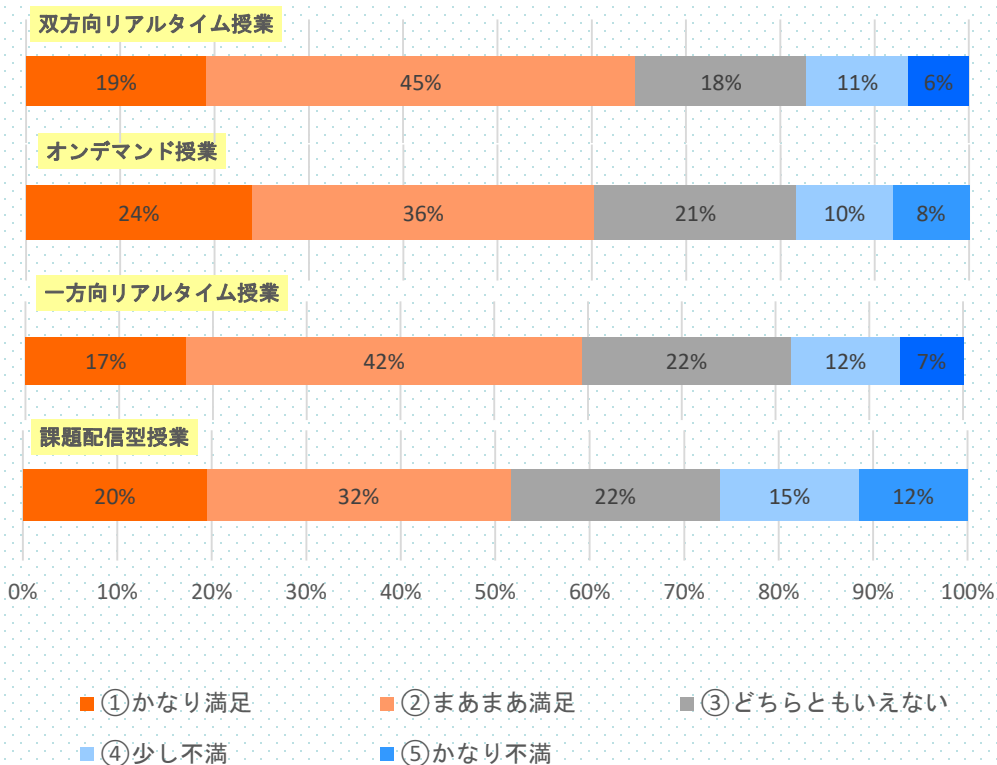
(参考) 学年別の理解度



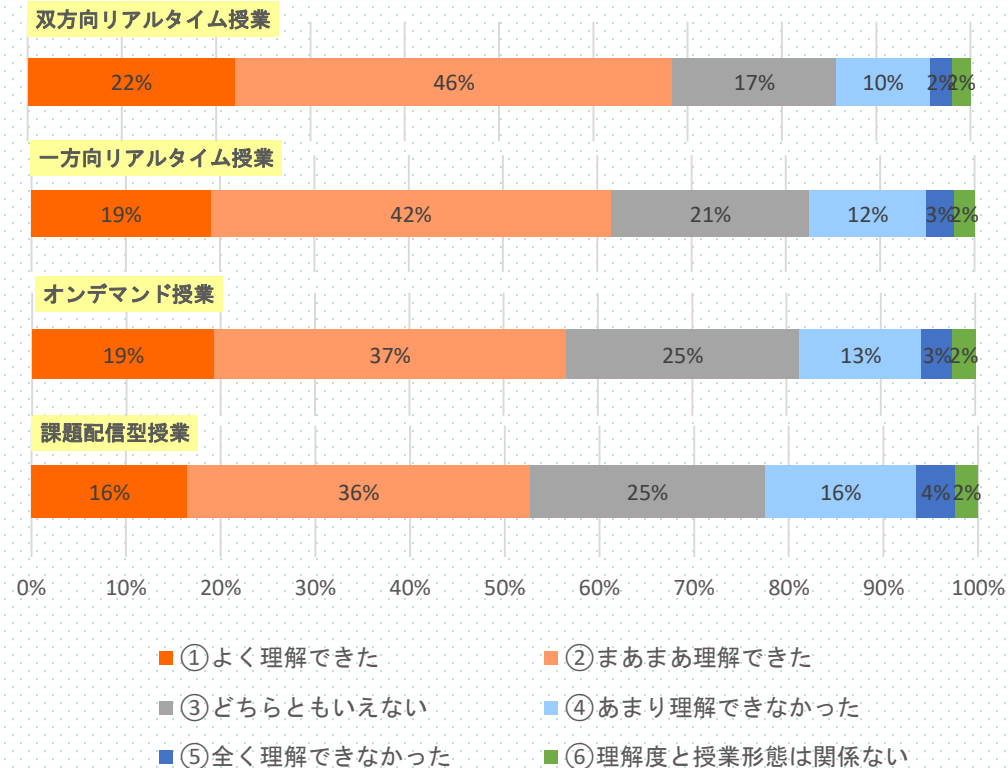
「満足度」「理解度」ともに学年が上がるにつれて満足度が上がる傾向

(2) 授業形態別の満足度・理解度 【語学科目】

「満足度」が高い授業形態(①、②の合計が高い順)

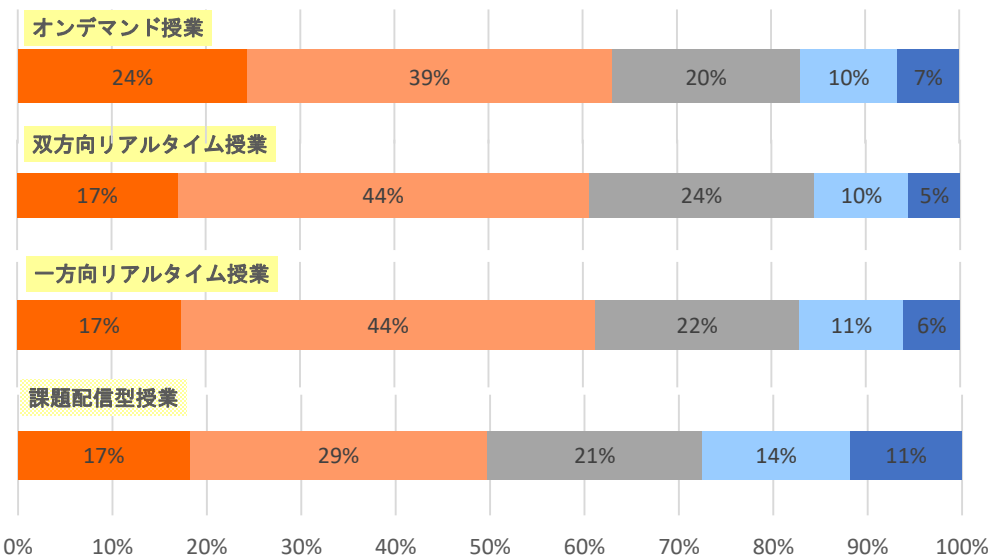


「理解度」が高い授業形態(①、②の合計が高い順)

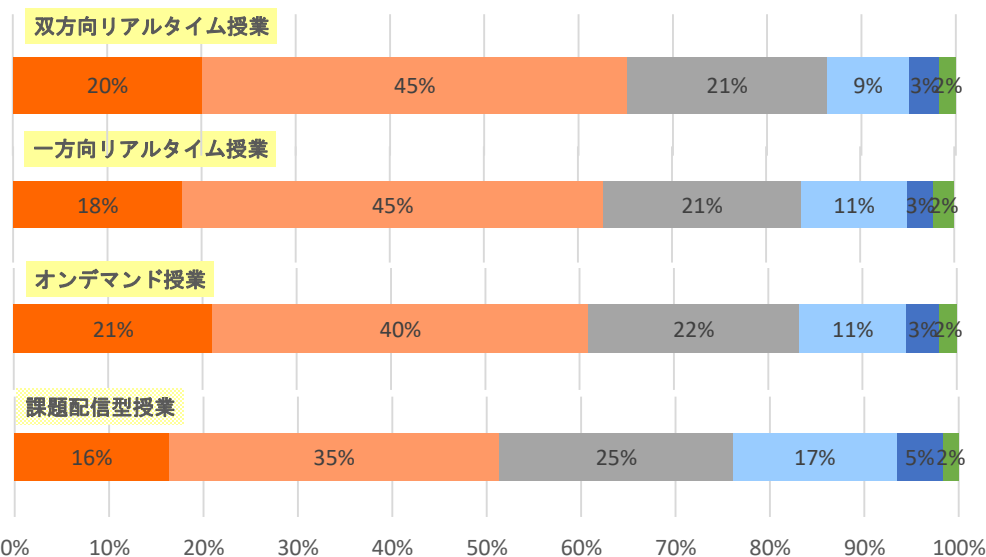


(2) 授業形態別の満足度・理解度 【講義科目】

「満足度」が高い授業形態(①、②の合計が高い順)



「理解度」が高い授業形態(①、②の合計が高い順)



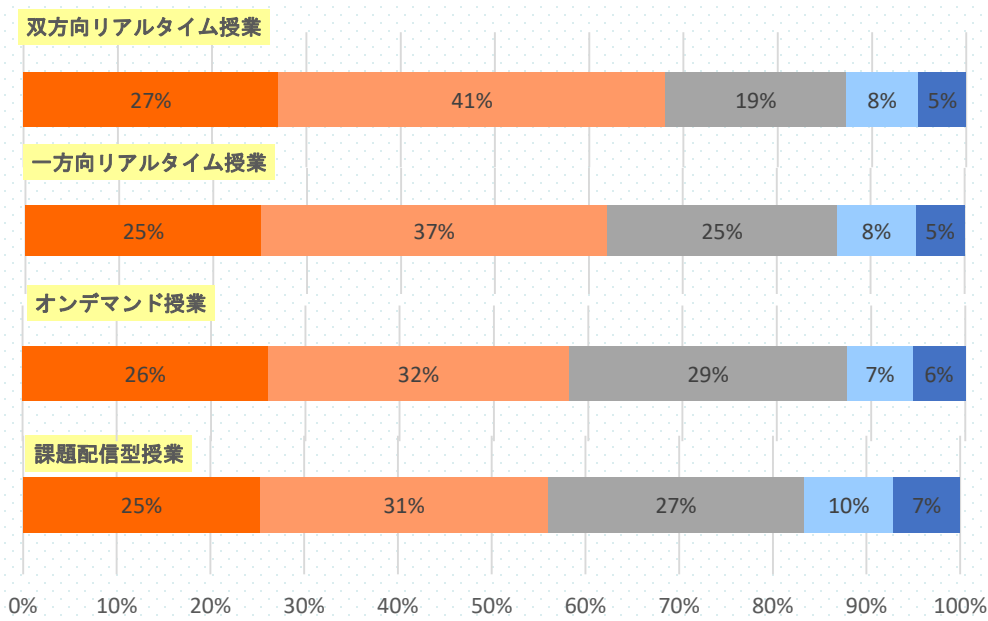
- ① かなり満足
- ② まあまあ満足
- ③ どちらともいえない
- ④ 少し不満
- ⑤ かなり不満

- ① よく理解できた
- ② まあまあ理解できた
- ③ どちらともいえない
- ④ あまり理解できなかった
- ⑤ 全く理解できなかった
- ⑥ 理解度と授業形態は関係ない

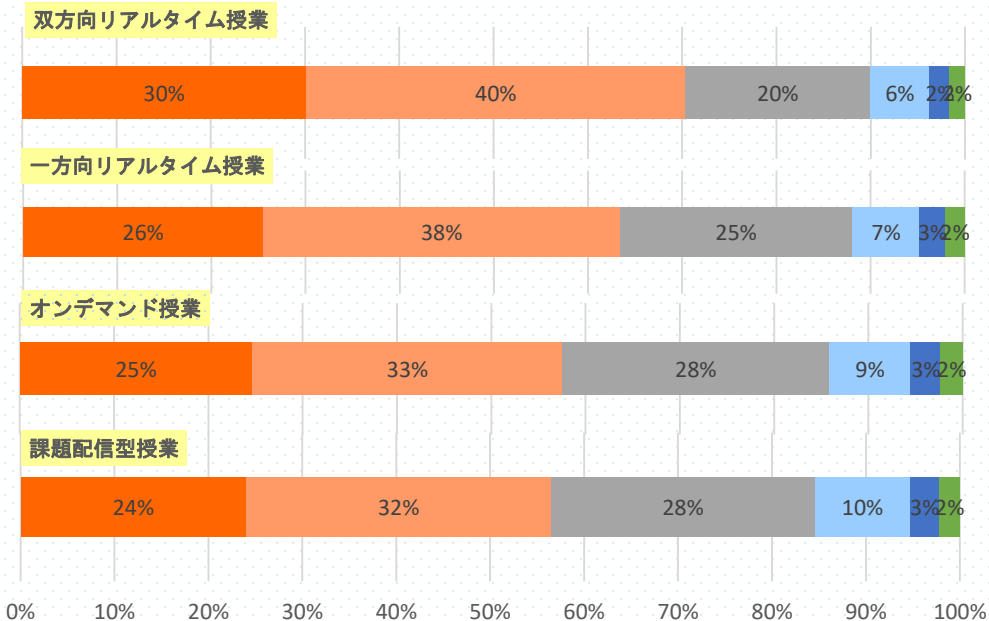
語学科目、演習科目では、「双方向リアルタイム授業」が「満足度」「理解度」ともに最も高い授業形態となったが、「講義科目」の「満足度」は「オンデマンド授業」が最も高かった。時間の自由度と復習の容易さが理由と考えられる。

(2) 授業形態別の満足度・理解度 【演習科目】

「満足度」が高い授業形態(①、②の合計が高い順)



「理解度」が高い授業形態(①、②の合計が高い順)

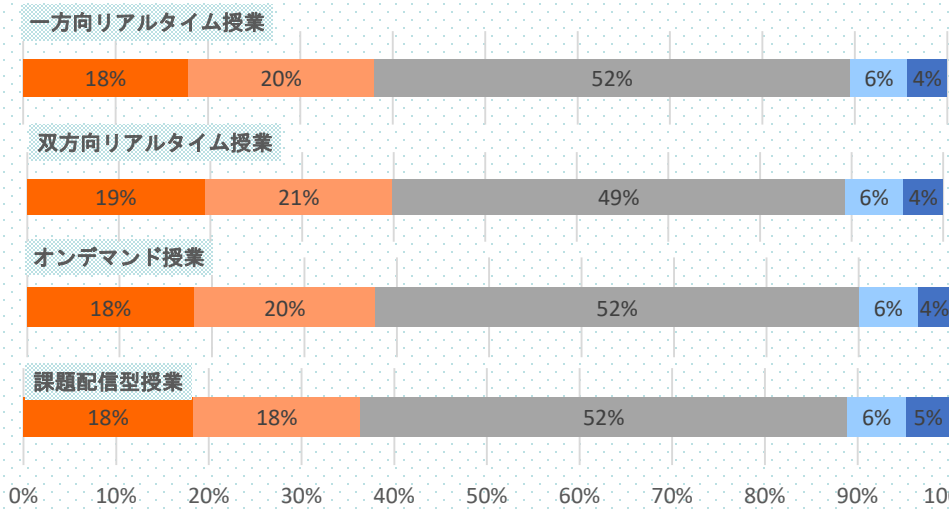


■ ① かなり満足 ■ ② まあまあ満足 ■ ③ どちらともいえない
■ ④ 少し不満 ■ ⑤ かなり不満

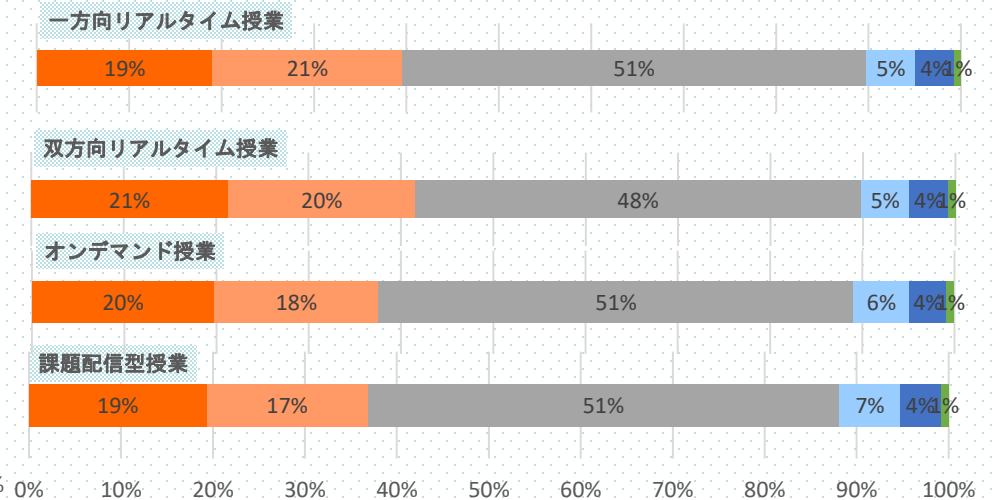
■ ① よく理解できた ■ ② まあまあ理解できた
■ ③ どちらともいえない ■ ④ あまり理解できなかった
■ ⑤ 全く理解できなかった ■ ⑥ 理解度と授業形態は関係ない

(2) 授業形態別の満足度・理解度 【スポーツ・レクリエーション科目】

「満足度」



「理解度」



- ① かなり満足
- ② まあまあ満足
- ③ どちらともいえない
- ④ かなり不満
- ⑤ 全く不満

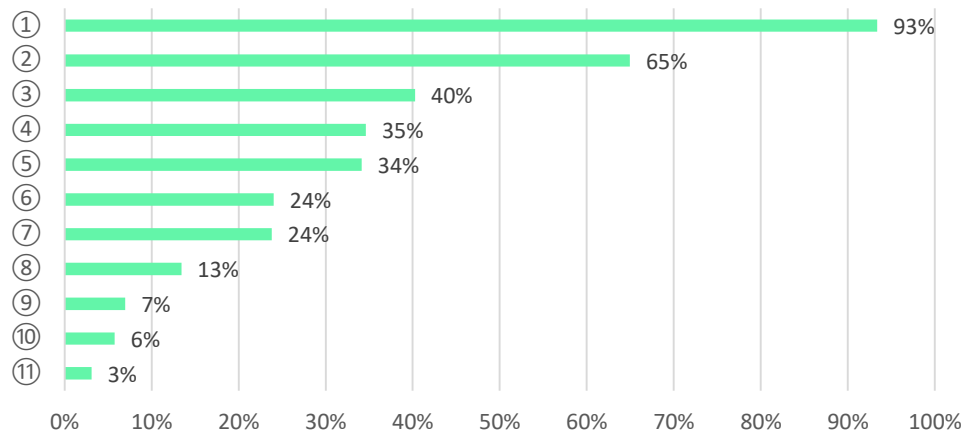
- ① よく理解できた
- ② まあまあ理解できた
- ③ どちらともいえない
- ④ あまり理解できなかった
- ⑤ 全く理解できなかった
- ⑥ 理解度と授業形態は関係ない

「満足度」「理解度」ともに「③どちらともいえない」が最も多い結果。科目の特性等から、回答しづらかった可能性がある。

(3) 授業についての肯定的な意見(学生)

～ 遠隔授業で良かったこと ～ 複数回答延べ人数

	%	人数
① 通学時間が不要(自宅で学習ができる)	93%	1718
② 自分のペースで学習ができる	65%	1195
③ PC等オンラインツールのスキルが高まった	40%	741
④ 課題の提出がしやすい	35%	637
⑤ 復習を何回も行える	34%	628
⑥ 集中して授業を受けることができる	24%	442
⑦ ストレスが少ない	24%	438
⑧ 教員に質問がしやすい	13%	247
⑨ 友人との協働的な学びができた	7%	128
⑩ 教材がわかりやすい	6%	106
⑪ その他	3%	57



～ 自由記述からの主な意見 ～

- ・通学時間がなかった分、学習など有意義に時間を使うことが出来て良かった。
- ・オンデマンド授業であれば、自分が復習したいと思えば好きな時間に好きなだけ復習できるという利点も生まれた。
- ・遠隔授業は負の面ばかりではないので、組み合わせて充実させたい。
- ・ITリテラシーが上がったこの機会を好機と捉え、これからも積極的にオンライン授業を取り入れていくべきと考える。
- ・知識的な面では、復習が簡単に行えたり、何度も授業を見返すことができる授業もあったため、対面授業よりもより良い学びができた。

(4) 授業についての肯定的な意見(教員)

～ 遠隔授業を実施して感じたこと ～

集中して授業を実施できた		%	人数
①	とても思う	40%	110
②	やや思う	41%	114
③	あまり思わない	14%	39
④	まったく思わない	3%	7
⑤	科目による	3%	8

課題の提示をしやすい		%	人数
①	とても思う	48%	133
②	やや思う	38%	107
③	あまり思わない	11%	31
④	まったく思わない	1%	3
⑤	科目による	1%	4

学生の出席状況が良い		%	人数
①	とても思う	39%	109
②	やや思う	38%	107
③	あまり思わない	14%	40
④	まったく思わない	3%	8
⑤	科目による	5%	14

学生の課題の提出状況が良い		%	人数
①	とても思う	39%	108
②	やや思う	43%	119
③	あまり思わない	12%	32
④	まったく思わない	1%	4
⑤	科目による	5%	15

～自由記述からの意見～

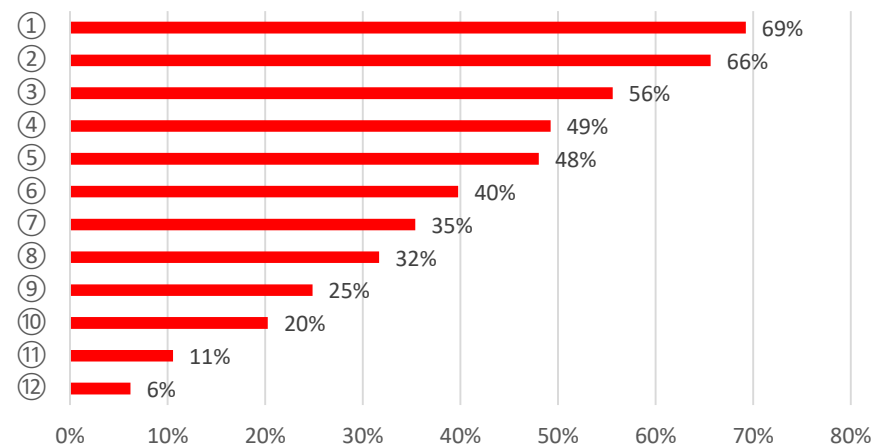
- ・教員と学生の通学負担がないので、時間が有効に使える。
- ・出席率と課題提出率が極めて良かった。
- ・リアルタイムとオンデマンドを組み合わせることで、学生が自分のペースで学べる余地が広がっている。
- ・学生の自立した学習につながる。
- ・学修の深まりを示す学生が多数いた。

(5) 授業についての否定的な意見(学生)

～ 遠隔授業の問題点として感じたこと ～

複数回答延べ人数

	%	人数
① 課題が多い	69%	1274
② 大学の施設を使って学習ができない	66%	1208
③ 友人との協働的な学習ができない	56%	1023
④ 心理的な負担を感じた	49%	906
⑤ 集中が継続しない	48%	884
⑥ 教員に質問がしづらい	40%	732
⑦ 身体的な負担を感じた	35%	651
⑧ 授業のペースがつかみにくい	32%	583
⑨ 教材がわかりにくい	25%	457
⑩ 課題の提出がしにくい	20%	373
⑪ PC等オンラインツールのスキルが追い付かない	11%	194
⑫ その他	6%	114



自由記述からの主な意見

- ・課題が多く、自分の学びたいことを勉強する時間の確保が難しかった。
- ・図書館や大学の勉強スペースが使えなくなり非常に困った。
- ・ゼミの活動でグループ研究があったが、直接会うことができず、協力して進めていくことがとても難しかった。
- ・回線の不調などによって先生の発音が聞き取りづらかったり、ズレが生じていても指摘しづらかったりとストレスを感じる場面があった。
- ・遠隔授業になり、想像以上に身体的・精神的な面の負担が増えた。

(6) 授業についての否定的な意見(教員)

～自由記述からの主な意見～

自己管理の
苦手な学生に
とって、特に
遠隔授業の
負担が大きい。

グループへの
サポートを適
時に行うこと
が難しい。グ
ループワーク
で資料の共有
や受け渡しが
困難な場合が
ある。

準備(資料作
成)に時間が
かかる。

学生同士の
人間関係形
成やサークル
などを含めて
大学の存在
意義である
と思うが、その
部分がまったく
提供できな
かった。

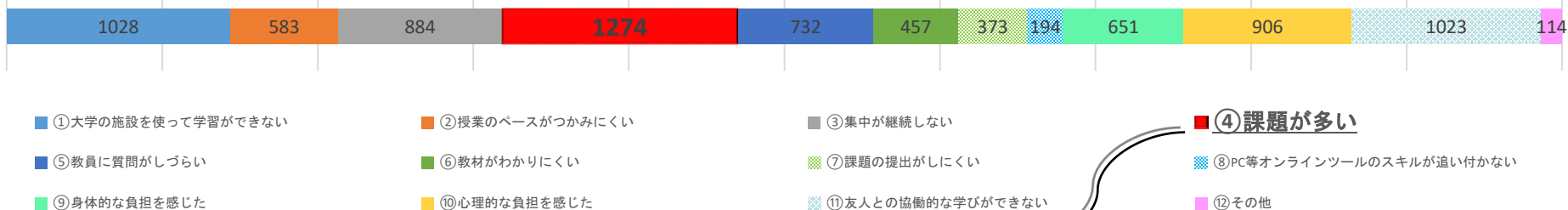
学生一人一
人の授業へ
の主体的な関
わりや理解度
の把握に少し
難しさを感じ
た。

顔を写してい
ない場合、視
覚による理解
度の確認がで
きない。

教員・学生双
方の通信環
境が大きく影
響する。特に
学生側の通
信環境が脆
弱だとデメリ
ットが多くなる。

3 課題、フィードバックについて

遠隔授業を実施して問題点として感じたこと（学生）複数回答延べ人数



④課題が多い ⇒ 1274名

「④課題多い」については、自由記述でも多くの意見があり、「フィードバック」と関連した意見もあった。

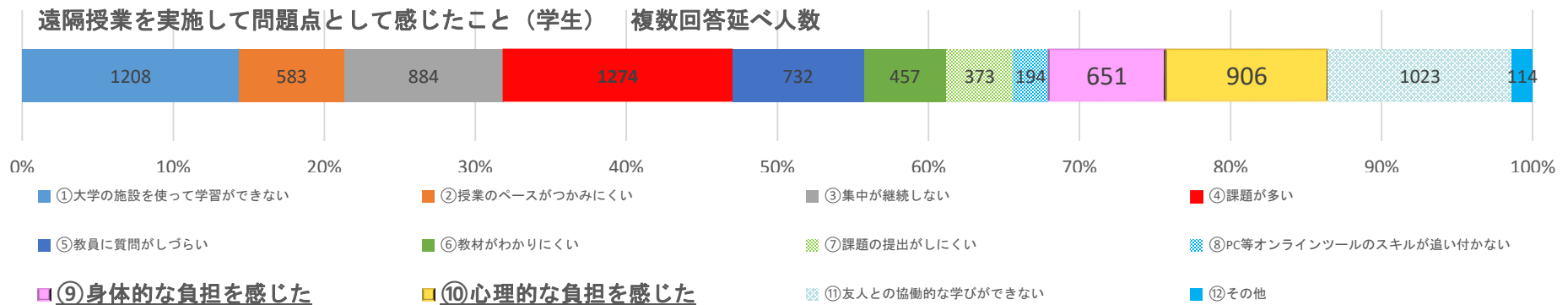
学生自由記述

- ・対面授業に比べてあまりにも課題が多く感じた。
- ・課題の量が膨大で学期末は精神的に追い込まれた。
- ・課題の提出日や期間が重なることが多く、負担が大きかった。
- ・課題の消化で終わってしまい、自主学習の時間が無かった。
- ・課題が多くなるのは仕方がないが、フィードバックを徹底してほしい。
- ・フィードバックで課題の欠点等を把握でき、学生は改善と努力をする。
- ・授業によっては課題へのフィードバックがなく、復習が出来ない。
- ・課題の量に見合った解説、フィードバックをして欲しかった。
- ・課題が多すぎて予習や復習をする時間があまりとれなかった。

教員自由記述

- ・レポート内容が対面授業の頃より質が高いうように感じた。
- ・対面授業の数倍の添削回数になる為、かなりきつい。
- ・「決められた期限内に課題を」と多くの学生が必死に勉強していた。
- ・フィードバックと教材作成に追われ、負担が大きくなった。
- ・複教科目のレポート執筆競合に陥っていることが想定される。
- ・授業間での課題量の調整ができない
- ・毎回のレポートに対してのフィードバックが、学生から評価された。
- ・十分なフィードバックを個別に行うことが想定以上に難しかった。
- ・フィードバックの負担は履修者数に比例して増加する。

4 身体的、心理的負担について



延べ1557名が身体的、心理的負担を感じた。



⑨身体的負担を感じた ⇒ 651名

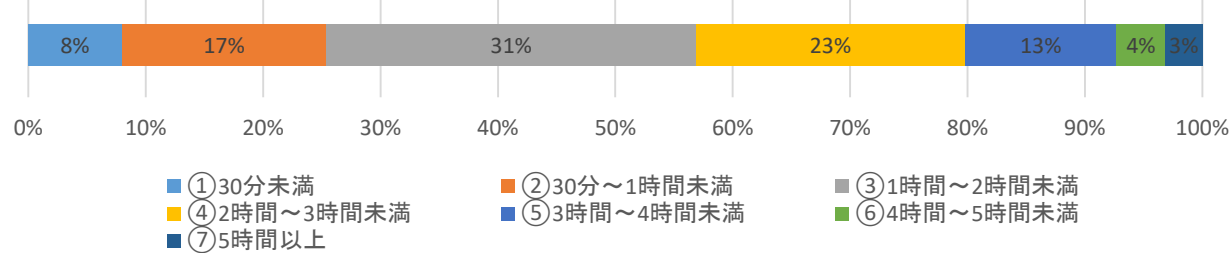
⑩心理的負担を感じた ⇒ 906名

学生からの主な自由記述

- ・100分間も画面を見続けるのはとてもきつかった。
- ・教室の移動等すらなく長時間座ったままになるので、体にあまり良くないと思われる。
- ・一日中PCに向かっていなければいけない日があったのが心身共に大変
- ・孤独を感じるのが一番つらかった。
- ・パソコンで課題をやり続ける日々に疲れが出てきてしまう。
- ・対面でのコミュニケーションからストレス発散や様々な情報共有により心の余裕ができていたと気づいた。

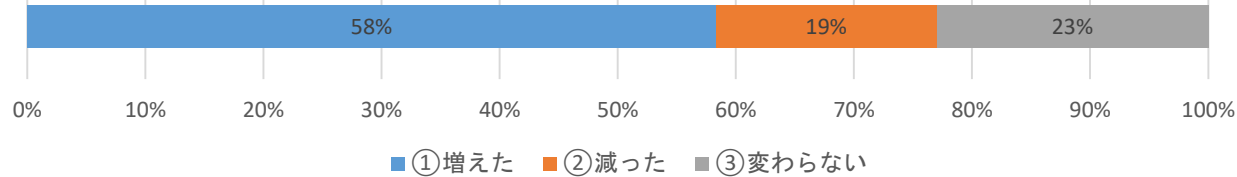
5 授業時間以外の学習時間の変化

授業時間以外の1日平均の学習時間（全学年）



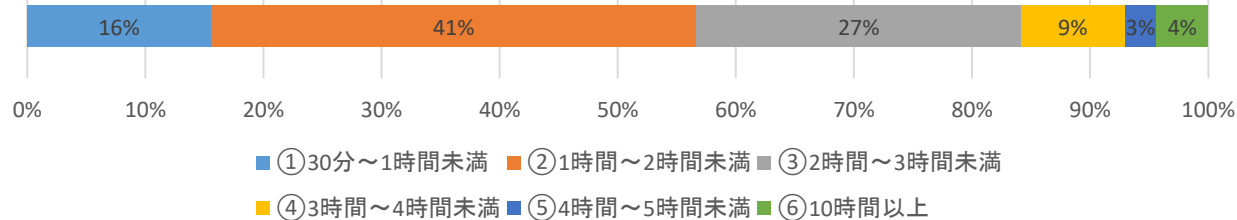
全学年
1日平均の授業時間以外学習時間
の最多時間
→ **1時間～2時間未満 31%**

授業時間以外の学習時間が週平均30分以上増減の有無（2年生以上、対面授業比）



2年生以上 対面授業に比べて授業以外
の週平均学習時間が**30分以上増加**
→ **58%**

授業時間以外の学習時間増（1週間あたり、2年生以上）



その内、**1時間～2時間未満増加**した学生
→ **41%**

遠隔授業に対する評価

学生の授業全体に対する評価

- ・「かなり満足」「まあまあ満足」の合計50%
- ・「よく理解できた」「まあまあ理解できた」の合計55%

授業形態別評価

- ☆「双方向リアルタイム授業」は「理解度」「満足度」ともに評価が高い
- ☆「オンデマンド授業」は「講義科目」では最も「満足度」が高い
- ★「課題配信型授業」全ての授業形態において評価が低い

遠隔授業の利点と課題

- ・「オンデマンド授業」は、学生の学習の自由度を高め、復習においても効果的な授業形態となった。
- ・学生が自律し、主体的な学習につながる効果があった。
- ・課題に関する意見が多数あり、単位の実質化の観点からも、予習、復習、自主的な学習に取り組む時間の確保が必要。
- ・学生、教員共に身体的、心的負担を感じる事が多く、健康面での留意が必要。

今後の授業形態

学生：「語学科目」「演習科目」「スポーツ・レクリエーション科目」は対面授業を望む意見が多数。「講義科目」は、遠隔授業の一部取り入れ、大幅な取り入れが対面授業を望む意見よりも多い。

教員：「語学科目」「講義科目」「演習科目」は、対面を主としながらも一部は遠隔授業を取り入れを望む意見が最も多い。「スポーツ科目」は全て対面授業を望む意見が最も多い。

設問1 所属(学部・学科・研究科)

設問2 学年

設問3 今年度、あなたが受けた遠隔授業について全体としての「満足度」を教えてください。

設問4 あなたが遠隔授業で利用した機器を教えてください。

設問5 あなたが遠隔授業で利用したサービスを教えてください。

設問6 あなたが受けた遠隔授業の「満足度」について教えてください。

6-1【語学科目】

6-2【講義科目】

6-3【演習科目】

6-4【スポーツ・レクリエーション科目】

設問7 遠隔授業を受けて全体としての授業の「理解度」を教えてください。

設問8 あなたが受けた遠隔授業での「理解度」について教えてください

8-1【語学科目】

8-2【講義科目】

8-3【演習科目】

8-4【スポーツ・レクリエーション科目】

設問9 あなたは、遠隔授業を受けた際に、授業時間以外に1日平均どのくらい学習をしましたか。

設問10 あなたの入学年度をお教えてください。

設問11 【対面授業】と比べて、授業時間以外に1週間平均30分以上の学習時間の増減はありましたか。

設問11-1 【対面授業】と比べて、授業時間が30分以上増えた方にうかがいます。具体的にどのくらい増えましたか。

設問12 【対面授業】と比べて、遠隔授業で良かったことを教えてください。

設問13 【対面授業】と比べて、遠隔授業の問題点として感じたことを教えてください。

設問14 コロナ終息後の授業形態に対する希望を教えてください。

設問15 その他、遠隔授業に関して自由に記述してください。

設問1 所属学科

設問2 職位

設問3 本学における担当コマ数(大学院を含む)

設問4 授業で利用したシステム・サービスを全て教えてください。

設問5-1 【語学科目】遠隔授業での授業形態を教えてください。

設問5-1 【講義科目】遠隔授業での授業形態を教えてください。

設問5-1 【演習科目】遠隔授業での授業形態を教えてください。

設問5-1 【スポーツ・レクリエーション科目】遠隔授業での授業形態を教えてください。

設問6 従来の対面授業に比べて教材作成等、授業準備に係る負担についてお答えください。

設問7 遠隔授業を実施して感じたことをお答えください。

設問8 コロナ終息後の授業形態に対する希望を教えてください。

設問9 遠隔授業において取り入れている工夫で、対面授業でも取り入れようと考えている工夫や、他の教員にも進めたい工夫はあるでしょうか。ある場合は、それはどのようなものか教えてください。

設問10 遠隔授業について、メリット、デメリットを含めて自由に記述してください。